

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 日進工具株式会社

上場取引所 東

 コード番号 6157 URL <http://www.ns-tool.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 弘治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 田島 寛

TEL 03-3763-5672

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,700	2.5	761	5.6	786	5.5	498	16.0
25年3月期第3四半期	4,585	4.1	720	△16.9	745	△18.7	429	△19.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 498百万円 (16.0%) 25年3月期第3四半期 429百万円 (△19.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	159.47	—
25年3月期第3四半期	137.43	—

平成24年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、1株当たり四半期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております(当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算出しております)。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	8,581	7,482	87.2	2,393.74
25年3月期	8,297	7,106	85.6	2,273.28

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 7,482百万円 25年3月期 7,106百万円

平成24年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、1株当たり純資産については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております(当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算出しております)。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	39.00	39.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,340	5.7	1,000	8.5	1,020	7.2	620	17.5	198.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。詳細は、添付資料2ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	3,126,000 株	25年3月期	3,126,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	20 株	25年3月期	20 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	3,125,980 株	25年3月期3Q	3,125,996 株

平成24年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数、期中平均株式数(四半期累計)については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております(当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算出しております)。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、海外経済回復と円安を背景にした輸出の持ち直し、企業収益の改善にともなう設備投資の増加、緊急経済対策等による高水準の公的需要等から、緩やかな回復局面が続きました。

当社グループ製品の主要需要先の状況につきましては、自動車関連が、新型車の投入効果もあって国内販売が底堅く推移したほか、好調な米国向けに加え欧州や中国向けも改善傾向となるなど、特に堅調に推移しました。またエレクトロニクス関連も、スマートフォンの新商品による押し上げ効果等から増加傾向となりました。

このような環境のなか当社グループでは、5月に香港現地法人の営業をスタートさせるなどアジア地区を中心に海外での販売活動の強化を進めるとともに、当社の仙台工場・開発センターにて行った「NS東北 微細・精密加工展示会2013」をはじめ、各種展示会への出展や単独又は共催での技術研修会の開催を積極的に行い、ユーザーへの浸透を図ってまいりました。「NS東北 微細・精密加工展示会2013」は当社仙台工場開設20周年に当たり、支えていただいた方々への感謝の気持ちと今後の日本のモノづくりに対する一つの方向性を示す目的で開催し、多くの方々にご来場いただきました。なお、この展示会において集まった協賛金、入場料、セール売上金等については、震災により進学が困難になった子供達への支援を行っている公益法人へ全額寄付させていただきました。

生産面におきましては、引き続き自社開発機を使った自動化の推進に努めるとともに、加工が非常に困難なCBN（立方晶窒化ホウ素）を使用したエンドミルの量産体制の確立を図りました。開発面では、CBNスーパースパイラルボールエンドミル「SSPB220」の発売やアルミ用エンドミルの規格拡大を行ったほか、ダイヤモンド焼結体エンドミル「PCDSE」と微細加工用CAD/CAMソフト「NS-MicroCAM」により、硬脆材の微細切削加工を可能とするシステムを構築し、第5回ものづくり日本大賞「東北経済産業局長賞」を受賞いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,700百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は761百万円（同5.6%増）、経常利益は786百万円（同5.5%増）、四半期純利益は498百万円（同16.0%増）となりました。製品区分別の売上高では、「エンドミル（6mm以下）」が2,856百万円（前年同期比0.9%減）、「エンドミル（6mm超）」が609百万円（同8.6%増）、「エンドミル（その他）」が913百万円（同11.5%増）、「その他」が321百万円（同0.5%減）となりました。

（注）報告セグメントが1つでありますので、製品区分別に記載しております。なお「その他」の事業セグメントは、製品区分別の「その他」に含めております。

(2) 財政状態に関する説明

第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は283百万円増加し8,581百万円となりました。これは主に、子会社である(株)牧野工業の工場建設に関する補助金収入による当座預金の増加及び売上債権の増加等から、流動資産が807百万円増加した一方、上記補助金に対応する固定資産圧縮損の計上及び減価償却等により、有形固定資産が525百万円減少したこと等によるものであります。

また、負債は前連結会計年度末と比較して92百万円減少し、1,098百万円となりました。これは主に、未払金の減少等によるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して、利益剰余金の増加などにより376百万円増加し7,482百万円となりました。なお、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は87.2%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当社及び一部の子会社について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,913,923	2,552,062
受取手形及び売掛金	831,654	953,016
商品及び製品	820,749	861,435
仕掛品	148,067	118,439
原材料及び貯蔵品	414,118	432,450
繰延税金資産	140,347	147,059
その他	69,976	81,903
貸倒引当金	△1,540	△1,720
流動資産合計	4,337,299	5,144,646
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,283,610	1,034,521
機械装置及び運搬具(純額)	1,538,075	1,249,419
土地	628,221	628,221
建設仮勘定	28,525	111,914
その他(純額)	175,601	104,752
有形固定資産合計	3,654,034	3,128,829
無形固定資産	44,840	27,289
投資その他の資産		
投資有価証券	26,742	39,267
繰延税金資産	108,940	108,940
その他	127,200	133,425
貸倒引当金	△1,157	△710
投資その他の資産合計	261,725	280,921
固定資産合計	3,960,600	3,437,041
資産合計	8,297,899	8,581,688

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	99,452	206,658
未払法人税等	187,745	121,506
賞与引当金	101,945	63,185
役員賞与引当金	37,500	24,000
その他	448,574	327,598
流動負債合計	875,217	742,949
固定負債		
退職給付引当金	80,978	93,582
役員退職慰労引当金	235,475	262,376
固定負債合計	316,453	355,958
負債合計	1,191,670	1,098,908
純資産の部		
株主資本		
資本金	442,900	442,900
資本剰余金	405,800	405,800
利益剰余金	6,257,558	6,634,152
自己株式	△29	△29
株主資本合計	7,106,228	7,482,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△110
為替換算調整勘定	—	66
その他の包括利益累計額合計	—	△43
純資産合計	7,106,228	7,482,780
負債純資産合計	8,297,899	8,581,688

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	4,585,061	4,700,737
売上原価	2,393,292	2,460,712
売上総利益	2,191,769	2,240,024
販売費及び一般管理費	1,471,366	1,479,013
営業利益	720,403	761,011
営業外収益		
受取利息	833	786
受取配当金	7,286	10,376
受取賃貸料	13,500	13,500
経営指導料	1,800	1,800
作業くず売却益	6,098	7,634
その他	5,091	2,049
営業外収益合計	34,609	36,147
営業外費用		
賃貸費用	9,562	10,783
その他	203	21
営業外費用合計	9,766	10,804
経常利益	745,246	786,354
特別利益		
固定資産売却益	29	89
補助金収入	—	362,000
特別利益合計	29	362,089
特別損失		
固定資産売却損	195	12
固定資産除却損	2,323	386
固定資産圧縮損	—	331,120
特別損失合計	2,519	331,519
税金等調整前四半期純利益	742,757	816,923
法人税等	313,158	318,416
少数株主損益調整前四半期純利益	429,598	498,507
少数株主利益	—	—
四半期純利益	429,598	498,507

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	429,598	498,507
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△110
為替換算調整勘定	—	66
その他の包括利益合計	—	△43
四半期包括利益	429,598	498,464
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	429,598	498,464
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。